

INFO-HIRO-21

第393号 2016年1月15日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会：研究発表会・公開講座

弘前大学第15回COI特別講演会の開催のお知らせ

革新的イノベーション創出プログラム（COISTREAM）「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するに当たり、コホート研究の知見を深めること等を目的として、下記のとおり弘前大学COI特別講演会を開催します。

本講演会では、東京大学の鄭 雄一先生をお招きして御講演いただきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成28年1月21日（木）13:30～14:30
（受付は13:00 から開始します）

会場：大学院医学研究科 基礎大講堂

講師：東京大学COI 研究総括（RL）
東京大学大学院 工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻
教授 鄭 雄一 氏

演題：医学と工学の融合でかなえる 「自分で守る健康社会」
—東大COIの新たな戦略展開—

詳細：http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.html?no=244

※配布資料等の関係上、事前の申し込みをお願いしております。

お手数ではありますが、参加を希望される方は、団体名・所属・役職・氏名を記載の上、下記メールアドレスまたはFAXまでご連絡ください。

<問合せ・申込み先>

弘前大学 COI研究推進機構

TEL：0172-39-5538

FAX：0172-39-5205

E-mail：coi_info@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://coi.hirosaki-u.ac.jp>

弘前大学COI特別講演会
医学と工学の融合でかなえる
「自分で守る健康社会」—東大COIの新たな戦略展開—

2016 **1/21** thu. 13:30 ▶ 14:30 (受付開始 13:00)
〔会場〕弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂 (青森県弘前市在野町5)

革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するに当たり、コホート研究の知見を深めること等を目的として、東京大学大学院 工学系研究科・バイオエンジニアリング専攻・教授の鄭先生に御講演いただきます。

講師
東京大学COI 研究総括 (RL)
東京大学大学院 工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻
教授 鄭 雄一 氏

〔略歴〕
東京製薬株式会社 技師 (日本水産会)
平成5年 弘前大学大学院工学系研究科 助教 (工学士)
平成6年 東京大学大学院工学系研究科 助教 (工学博士)
平成7年 特任教授 (東大病院、国立水戸病院、茨城県立中央病院)
平成8年 東京大学工学部医工学系 助教
平成9年 京都大学大学院工学系研究科 助教 (工学博士)
平成10年 ハーバード大学医学部 講師 (Instructor)
平成11年 ハーバード大学医学部 助教授 (Assistant Professor)
平成12年 名誉教授 (名誉教授)
平成13年 名誉教授 (名誉教授)
平成14年 名誉教授 (名誉教授)
平成15年 名誉教授 (名誉教授)
平成16年 名誉教授 (名誉教授)
平成17年 名誉教授 (名誉教授)

てい ちゅういち / Chung, Ung-hill
教授 鄭 雄一 氏

後援 理化学研究所、医学、再生医学、バイオマテリアル工学の
研究に携わり、運動器疾患の予防・治療に乗り組むとともに、
医工連携による健康医療イノベーションの推進に注力。

どうぞお気軽に御参加下さい。一般の方・学生の参加も大歓迎です。
※配布資料等の関係がございますので、参加を希望される方は、事前の申込を
お願いしております。
会社名または団体名・所属・役職・氏名を記入の上、メールまたはFAXをお送
りください。

弘前大学COI研究推進機構
▶ Information Mail: coi_info@hirosaki-u.ac.jp TEL: 0172-39-5538
URL: <http://coi.hirosaki-u.ac.jp> FAX: 0172-39-5205

市民公開講座のお知らせ

地域保健医療教育研究センターでは、市民公開講座を本学保健学研究科生体応答科学研究センターと共同開催します。事前申し込みは不要、参加費は無料です。多数の市民の方々をお待ちしております。

- 【テーマ】 地域医療の進歩とその基礎
【場所】 むつ市立図書館あすなるホール
【日時】 平成28年1月24日(日) 10:00～12:30
【内容】

第I部 地域医療の進歩

座長：中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科教授，生体応答科学研究センター長）

1. 備え（そなえ）あれば患い（うれい）なし。
— 健やか力を身につけて、心身の健康増進を—
丹藤 雄介 氏（弘前大学大学院保健学研究科教授）
2. 高齢者に有用ながん放射線治療—地域完結型医療をめざして—
真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科教授，地域保健医療教育研究センター長）
3. 訪問医療に適した画像診断ツールの有効利用
—ヘルスプロモーションカーとX線画像情報連携支援システムの活用—
工藤 幸清 氏（弘前大学大学院保健学研究科講師）

第II部 地域医療を支える基礎的研究

座長：真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科教授，地域保健医療教育研究センター長）

ヒアルロン酸とプロテオグリカンの正しい知識

中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授，生体応答科学研究センター長）

【お問い合わせ】

弘前大学大学院保健学研究科 佐藤真由美・北嶋結
（地域保健医療教育研究センター 事務局）

TEL/FAX：0172-39-5953

E-mail：sato-ma@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科市民公開講座
主催：弘前大学大学院保健学研究科・地域保健医療教育研究センター/生体応答科学研究センター
後援：むつ市、むつサテライトキャンパス

地域医療の進歩とその基礎

日時：平成28年1月24日(日)10:00-12:30(9:00開場)
会場：むつ市立図書館 あすなるホール
※当日は、(株)青工様、下北建設協会の駐車場が利用可能です

第I部 地域医療の進歩

座長：中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、生体応答科学研究センター長）

1. 備え（そなえ）あれば患い（うれい）なし。
— 健やか力を身につけて、心身の健康増進を—
丹藤 雄介 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授）
2. 高齢者に有用ながん放射線治療—地域完結型医療をめざして—
真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、地域保健医療教育研究センター長）
3. 訪問医療に適した画像診断ツールの有効利用
—ヘルスプロモーションカーとX線画像情報連携支援システムの活用—
工藤 幸清 氏（弘前大学大学院保健学研究科・講師）

第II部 地域医療を支える基礎的研究

座長：真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、地域保健医療教育研究センター長）

ヒアルロン酸とプロテオグリカンの正しい知識
中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、生体応答科学研究センター長）

お問い合わせ 弘前大学大学院保健学研究科 佐藤真由美・北嶋結
（地域保健医療教育研究センター 事務局）
TEL/FAX 0172-39-5953
E-mail sato-ma@hirosaki-u.ac.jp

事前
参加申し込み
不要
参加無料

弘前大学大学院保健学研究科市民公開講座

地域医療の進歩とその基礎

第I部 地域医療の進歩

座長：中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、生体応答科学研究センター長）

1. 備え（そなえ）あれば患い（うれい）なし。
— 健やか力を身につけて、心身の健康増進を—
丹藤 雄介 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授）
目には見えなくても健康で大切ですよね。「いそがしいから・・・」「めんどうだから・・・」と自分のからだを大切にすることを怠らなさいませぬか？ ちょっとした注意と工夫で健康増進をはかることができます。このような健康に関する情報を適切に利用し活用する力を「健やか力（ヘルスリテラシー）」といいます。本講演では内科の病気を中心に、病気にならないために、また、なってしまったらどうするかをわかりやすく解説します。
2. 高齢者に有用ながん放射線治療—地域完結型医療をめざして—
真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、地域保健医療教育研究センター長）
放射線治療という名前は最近やっとなじみだまっていますが、大多数の方はその実態をご存じないと思います。放射線治療は、がんの根治を狙う役割を果たす一方で症状をやわらげる緩和的治療にも用いることが出来、その応用範囲は素晴らしいのです。また、非侵襲的に（血をみないで）治療を実施できるので体への負担が小さく、高齢者のがん治療に最も適しているといっても過言ではありません。今回は、治療を受けていただく際の技術や効果に関して実例を以て理解していただき、さらに、現在むつ総合病院に設置されている放射線治療設備がいかに立っているかについてもお話ししたいと思います。
3. 訪問医療に適した画像診断ツールの有効利用
—ヘルスプロモーションカーとX線画像情報連携支援システムの活用—
工藤 幸清 氏（弘前大学大学院保健学研究科・講師）
在宅医療、特に訪問検査等に利用可能なX線撮影システムが開発されました。ご自宅で寝たきりの患者さんや身体の不自由な患者さんの胸部撮影、腹部撮影、骨の撮影などを在宅で行えるものです。このシステムを有効に利用するためのヘルスプロモーションカーの活用とX線画像情報連携支援システムについてご紹介致します。

第II部 地域医療を支える基礎的研究

座長：真里谷 靖 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、地域保健医療教育研究センター長）

ヒアルロン酸とプロテオグリカンの正しい知識
中村 敏也 氏（弘前大学大学院保健学研究科・教授、生体応答科学研究センター長）
化粧品や健康食品などでヒアルロン酸やプロテオグリカンという名前をよく耳にするようになりました。過剰な摂取が危険な場合も少なくありません。本講演ではこれらについて、構造と機能、加齢による変化や病気の関連、さらには健康食品としての可能性などについてお話しします。

弘前大学人文学部地域未来創生センター主催 公開シンポジウム
「コメの自然栽培と地域農業の活性化 -耕作放棄地の再生-」開催のお知らせ

日 時：平成28年1月27日（水）午後4時より開場（入場無料）

場 所：弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

プログラム

- | | | | |
|-------------|------|------------|---|
| 16:30-16:40 | 趣旨説明 | 黄 孝春 | （弘前大学人文学部教授） |
| 16:40-17:10 | 講演 1 | テーマ
講演者 | 「日本農業が進むべき道」
木村秋則（木村興農社社長） |
| 17:10-17:40 | 講演 2 | テーマ
講演者 | 「自然栽培稲作の科学的検証」
杉山修一（弘前大学農学生命学部教授） |
| 17:40-18:10 | 講演 3 | テーマ
講演者 | 「消費者のニーズを取り込んだ自然栽培の成功事例」
高橋啓一
（NPO法人岡山県木村式自然栽培実行委員会理事長） |
| 18:10-18:20 | コメント | 金 哲洙 | （日本農業新聞記者） |

【問合せ先】

弘前大学人文学部 黄 孝春 TEL/FAX 0172-39-3287

平成27年度後期 弘前大学大学院人文社会科学研究所
FD公開発表会開催のお知らせ

日 時：2016年1月27日（水） 14:30～17:10（予定）

会 場：人文学部棟4階 多目的ホール

内 容：人文社会科学研究所（修士課程）の大学院生の研究発表

一発表者と発表題目一

鎌田 遥（文化科学専攻1年）
「古典文学における月」

朴 歆（文化科学専攻1年）
「異文化スクリプトの獲得過程に関する研究
—「ハングル会」に集まる韓国人と日本人のインタ
ラクションから—」

魏 紅敏（応用社会科学専攻1年）
「アジア新興国における日系企業の人事労務問題
—中国を中心として—」

黄 少華（応用社会科学専攻1年）
「中国における日系企業の人的資源管理
—モチベーションの面で一—」

平成27年度後期
弘前大学大学院人文社会科学研究所
FD公開発表会

修士課程の大学院生による研究発表会を行います。大学院の研究に関心のある方や、大学院への入学を考えている方など、学部生、大学院生、教職員、社会人のみなさまのご参加をお待ちしています。

日時：平成28年1月27日（水）14:30～
場所：人文学部棟4階多目的ホール

～プログラム～

14:30	開会の辞
14:40	発表者：鎌田 遥（文化科学専攻1年） 発表題目：古典文学における月 （指導教員：渡辺 麻里子）
15:10	【休憩】
15:20	発表者：朴 歆（文化科学専攻1年） 発表題目：異文化スクリプトの獲得過程に関する研究 —「ハングル会」に集まる韓国人と日本人の インタラクションから— （指導教員：曾我 亨）
15:50	【休憩】
16:00	発表者：魏 紅敏（応用社会科学専攻1年） 発表題目：アジア新興国における日系企業の人事労務問題 —中国を中心として— （指導教員：森 樹男）
16:30	【休憩】
16:40	発表者：黄 少華（応用社会科学専攻1年） 発表題目：中国における日系企業の人的資源管理 —モチベーションの面で一— （指導教員：森 樹男）
17:10	終了予定

事前申し込みは不要です！お気軽にご参加ください！
お問い合わせ：弘前大学人文学部事務担当
TEL 0172-39-3941 / Mail: jn3941@hiroaki-u.ac.jp

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。
※入場無料，事前の申込は不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学人文学部 総務グループ教務担当

TEL：0172-39-3941

E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2016開催のお知らせ

革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）の更なる加速化を目的に，県民・国民の健康寿命延伸とQOL・GNH向上に向けた新たな産業創出（社会実装）のあり方などについて総合的な討論をするため「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2016」を開催することとなりましたので，お知らせいたします。

COI本部や各拠点はもとより，参画企業・関連企業の皆さんが多数参加されます。また，青森県内における地域の取り組み（健幸リーダー育成：弘前市・青森市），学校の取り組み（健康教育プログラム：猿賀小学校・中郷小学校），職域の取り組み（北星交通・みちのく銀行）など，県内における様々な取組状況と弘前大学COIの意義と期待について熱く語っていただきます。

COIは，日本に真のイノベーションをもたらす国家的プロジェクトとして期待されています。ご多忙とは存じますが，ぜひ本サミットにご参加いただき弘前大学COIのみならずCOI事業全体の取り組みについてご理解を深めていただきたく存じます。

日 時：平成28年1月29日（金）13:30～17:15

会 場：ホテルナクアシティ弘前 プレミアホール
（青森県弘前市大町1-1-2）

主 催：弘前大学(COI研究推進機構/研究・イノベーション推進機構)，青森県，弘前市

共 催：青森県医師会，健やか力推進センター，（財）21あおもり産業総合支援センター，
（地独）青森県産業技術センター，ひろさき産学官連携フォーラム など

後 援：文部科学省，経済産業省，（国研）科学技術振興機構（JST） など（予定）

詳 細：http://coi.hirosaki-u.ac.jp/web/news_detail.html?no=234

申込締切：平成28年1月22日（金）

参加をご希望の方は，会社名・団体名，電話番号，FAX番号，E-Mail，部署名，役職名，参加者氏名（フリガナ付），交流会参加の有無を記載の上，下記までお申込みください。

<問合せ・申込み先>

弘前大学COI研究推進機構

TEL：0172-39-5538

FAX：0172-39-5205

E-mail：coi_info@hirosaki-u.ac.jp

HP：<http://coi.hirosaki-u.ac.jp>

知財塾開催のお知らせ

この度、研究・イノベーション推進機構では、知的財産権の基礎知識や創出、管理、活用等に関する理解を深め、知的財産に対する意識を醸成することを目的に知財塾を開催します。今回は、国立大学法人山口大学 大学研究推進機構 知的財産センター長と山口ティール・エル・オー代表取締役社長を兼任している、佐田洋一郎 氏を講師にお招きし、「医療研究者・研究支援者のための特許と研究ノートの正しい活用法(仮)」と題してご講演いただきます。

医薬品・バイオ技術のライセンス、研究提携等に関する知識、理解を深めたい方など、興味がある方はどなたでも是非奮ってご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 場 所：大学院医学研究科基礎棟 1階 大会議室（青森県弘前市在府町5番地）
2. 日 時：平成28年2月15日（月）18：00～20：00
3. テーマ：医療研究者・研究支援者のための特許と研究ノートの正しい活用法（仮）
4. 講 師：国立大学法人山口大学 大学研究推進機構 知的財産センター長
山口ティール・エル・オー代表取締役社長 佐田 洋一郎 氏
5. 対 象：どなたでも参加可能
6. 参加料：無料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、2月8日（月）までに、下記連絡先までお申し込みください。

【参加申込み先】弘前大学知的資産部門（担当：石沢、神山）

TEL：0172-39-3994

FAX：0172-36-2105

E-mail：chizai@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

国際連携本部 和氣太司<著>

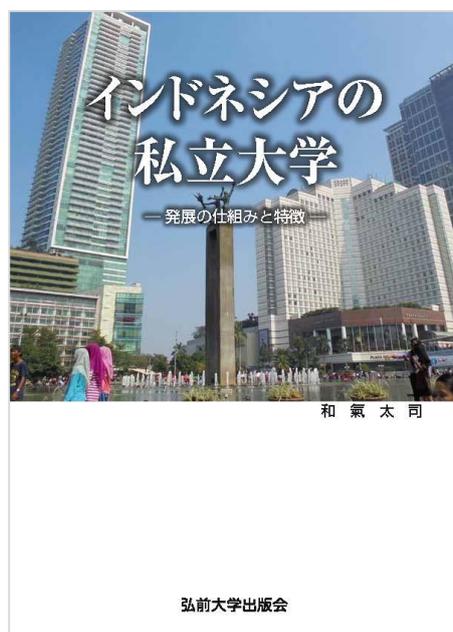
「インドネシアの私立大学 ―発展の仕組みと特徴―

（A5判、166頁、定価 4,050 本体3,750円＋税）を出版しました。

～紹介文～

太平洋に浮かぶエメラルドの首飾りと讃えられる世界最大の島嶼国家インドネシア。その人口は世界第4位の2億5千万に及ぶ。教育の普及も進み、現在、4千近い大学があるが、その96%を私学が占める。高等教育の就学率では近隣のタイやマレーシアに及ばないが、私立大学数ではタイやマレーシアを凌駕している。

なぜインドネシアでは私立大学が拡大したのか。その背景は何か、私学の果たす役割や発展の仕組みはどのよ



うになっているのか。また、私学の拡大は世界的な現象であるが、インドネシアの私立高等教育はアジアや世界の中でどのような特徴を持っているのか。

これらの問いに答えるべく、本書は、ジャカルタ特別州の私立大学とその経営主体である設置者に注目し、社会の教育ニーズに迅速に対応し拡大を遂げた私立大学の発展の仕組みと特徴を実証的に浮彫りにする。私立大学の問題と国立大学を含む高等教育全体とを比較し、インドネシアの大学教育の全体像をも明らかにした力作。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

事務局庁舎改修に伴う学長直言箱の撤去について

事務局庁舎改修のため、庁舎1階に設置しておりました学長直言箱を撤去させていただきます。撤去期間中、ご迷惑をおかけいたしますが、事務局庁舎以外に設置しております学長直言箱をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

撤去期間：平成27年8月17日（月）～平成28年4月28日（木）

問い合わせ先：弘前大学総務部総務課（秘書室） 内線3004

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第39号」では、授業や課外活動に真剣に取り組む学生、グループの活動の紹介する「今、学生は！」のコーナーにおいて、本学のサークル「H・O・T Managers」が紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第39号」

<http://www.janu.jp/report/koho/39gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第36号・第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498 内線：3029